
それいけ！憂・梓・純

オーストリア航空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それいけ！憂・梓・純

【Nコード】

N0130M

【作者名】

オーストリア航空

【あらすじ】

桜ヶ丘高校2年の憂・梓・純がアンパンマンワールドにワープしてしまった。そこで3人はいろいろな仲間に出会い協力しながら元の世界に戻ろうとする。果たして3人は元の世界に帰ることが出来るのか？

0 プロローグ

今回、私は憂・梓・純の3人を主人公に小説を書きたかったのと、「アンパンマン」と「けいおん！」のコラボの小説がまだ作られていなかった（平成22年6月現在）ので、今回の作品を作ろうと思いました。

？ 注意点？

（1）唯・律・

漣・紬・和・さわちゃんも登場しますが、今回は3人が主役なので、登場回数は少なくてす。

（2）ばいきんまんはス

トリーの関係上、後書きを除き登場しません。又、「アンパンマン」の主要キャラクターの内、メロンパンナ、ロールパンナ、クリームパンダ、ドキンちゃん、おむすびまん、こむすびまん、ドリアン女王は未登場です。（3）「けいおん！」には、オリジナルの教師や他校の男子生徒が多数登場します。

1 憂ちゃんとあずにゃんと純ちゃん

憂「（こんにちは 平沢憂です。今日も梓ちゃんと純ちゃんと一緒にお昼を食べるところです。）」 純「あつ、

そうだ。今日はお弁当持ってきていないんだ。憂・梓、一緒に購買部でパンを買いにいこう。」 憂「別に良いよ。純ちゃん。」

梓「私はお弁当あるから。でも、行くだけなら。」 3人は購買部に向かうため教室を出た。

純「又、ゴールデンチョコパン置いてないかな？」

梓「今日は、3年生もいるし、お昼休みになつて、10分以上経っているから、多分ないと思う・・・」

憂・梓・純「！」 突如、3人が歩いていた廊

下に謎の穴が出現し、その穴に落ちてしまった。その穴は3人が落ちてすぐに、何事もなかったかのように消えた。又、殆どの生徒が、教室や購買部、学生食堂にいて、おまけに謎の穴が出現した場所はまだ人が通らないところだったので目撃者もいなかった。謎の穴はどこへ繋がっているのか？又、3人はこれからどうなるのか？

2に続く。

2 どんぶりまんトリオと憂ちゃん（前書き）

解ると思いますが空から落ちてきた女の子は憂ちゃんのことです。
又、カッドンマンの話す英語は解りやすいようにカタカナにしました。

2 どんぶりまんトリオと憂ちゃん

てんどんまん「やつぱりここは、気持ちいいざんすね。」

カツドンマン「うーん。本当にここはてんどんまんの言う通り、水もビューティフルだし、空気もデリシヤスだね。」 かまめしどん「ほんと水も空気も上手いけど、やつぱここで一番上手いのは、ここから見る景色だな。」

りオとはある湖に来ていた。 てんどんまん「んじゃ。もう少ししたら出発するざんす。」 かまめしどん「おや？なん

か空から落ちてきた。・・・ありや、よく見たら、女の子が落ちてきた。」 カツドンマン「ホワッツ？何だつて？かまめしどん。そりやたいへんだ。よし、ミーが助けに行こう。」

カツドンマンは女の子が落ちてきそうな地点まで走った。しかし、てんどんまんがカツドンマンが助けるのを妨げた。カツドンマン「コラー。てんどんまん。ミーの邪魔をするな！」

てんどんまん「あんたが助けようとしても、落としかねないから、あたしが助けるざんす。」 カツドンマン「てんどんまん。ユーだつて、この前、アンパンマンの顔落としたじゃないか？」

てんどんまん「（カッチーン？）頭にきたざんす。やってやるざんす。」 カツドンマン「やってやろうじゃないか。」 てんどんま

んとカツドンマンはけんかを初めてしまった。その隙に、かまめしどんが女の子を地面に着地する寸前にキャッチした。

かまめしどん「おや？なんかこの子、気を失っているみたいだ。少し様子を見たほうがいいな。」（しばらくして）

憂「・・・う、うつ、うーん・・・」 てんどんまん「気がついたざんすか？」 憂「！！！」 てんどんま

ん「別に怪しいものではないざんす。実は、・・・」 てんどんまんは今までの状況を説明した。説明が終わると初めては戸惑っていた憂もだんだん慣れていき、姉（唯）がそうだったみたいに、

初めて会う人でも、すぐに友達になる性質が、憂にも伝わっており、すぐにどんぶりまんトリオと仲良くなった。

憂「へえー。そうだったんですか？ところで、あなた方のお名前なんて言うんですか？」

てんどんまん「あたしはてんどんまんさんです。」カツドンマン「ミーはカツドンマン。」

かまめしどん「おいらは、かまめしどんだ。」憂「てんどんまんさんにカツドンマンさん、それに、かまめしどんさんみんな素敵な名前ですね（ぐう）」

てんどんまん「どうしたさんですか？」

憂「なんか私お腹がへっちゃって」

かまめしどん「まめしどん「んじゃ。おらたちのご飯を分けてあげるべ。」

「ノープログラム。」

てんどんまん「困っている時はお互いさます。」

憂「ありがとうございます。」

（ご飯が分けられて）

モグモグ・・・おいしい。こんなにおいしいご飯初めて食べました。」

てんどんまん「カツドンマン・かまめしどん（デレデレ）いやいや。」

てんどんまん「ところで、あなたの名前はなんていうさんす？」

憂「私の名前は平沢憂、梓ちゃんと純ちゃんって言って、私の友達なんだけれど、落ちたときにはぐれちゃったんですけど、てんどんまんさん、カツドンマンさん、かまめしどんさん知りませんか？」

てんどんまん「梓ちゃん？純ちゃん？聞いたことないさんすね。」

カツドンマン「ミーも聞いたことないよ。」

かまめしどん「おいらも聞いたことないが、もしかしたら、ジャムおじさんなら知ってるかもしれないな。」

てんどんまん「たしかに。知ってるかも知らないさんす。」

憂「ジャムおじさん？」

カツドンマン「ジャムおじさんはパン工場に住んでいて、ミーたちに、パンを分けてもらったり、今、憂ちゃんが食べてくれたご飯を作ったりしてくれるとても良い人だよ。そして、ジャムおじさんはいろいろともの知りなんだよ。」

憂「へえー、そうなんですか

「？」
てんどんまん「でも、どうするぞんす？パン工場はここからだとけつこう離れているぞんすよ。」カツドンマン「なーに、てんどんまん。ミーたちはどんなに遠くても、みんな協力して、がんばってきたじゃないか。それに、憂ちゃんの友達を探すのには、やっぱりジャムおじさんの協力が必要だよ。」

かまめしどん「そうと、決まれば、パン工場に向けて出発だ。」

てんどんまん・カツドンマン・憂「おー。」こうして

どんぶりまんトリオと平沢憂は中野梓と鈴木純を探したためパン工場に向かって歩きだした。

3に続く。

2 どんぶりまんトリオと憂ちゃん（後書き）

ばいきんまん「なんで？俺様が後書きしか出させて思えないんだ。

おのれ、こうなつたら俺様自身がこの小説に強引にでてやる。．．．

・あれ？俺様のUFOが動かない。」

オースト

リア航空「そんなこともあるかと、ばいきんまんUFOを壊していた。」

ばいきんまん「おのれ、オーストリア航空。」

ばいきんまん「おのれ、オーストリア航空。」

覚えていろよ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0130m/>

それいけ！憂・梓・純

2010年10月10日12時05分発行